

# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

カラフルな彩りを楽しもう！植え付け時期と品種の工夫で長い期間収穫できる！～カリフラワー～

図1 作型目安

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
夏まき	秋冬どり	▲	●		■	■							
	早生		▲	●		■	■	■	■				
	冬春どり		▲	●			■	■	■	■			
	中晩生		▲		●					■	■	■	■
春まき	極早生							🏠		●	■	■	■

▲ 種まき ● 植え付け 🏠 ハウスで種まき・育苗 ■ 収穫

※同じ作型(早生・晩生など)でも品種により収穫時期などが異なるためラベルをよく確認する

## ●カリフラワーの旬は冬

カリフラワーは収穫時期を変えながら全国で栽培され、真夏を除きほぼ通年出回っています。出回る量は秋頃から増え始めますが、最もおいしい旬の時期は11月頃から3月頃までの、冬の寒い時期になります。家庭菜園では、比較的害虫の少ない秋冬どりが作りやすいでしょう。最近、カラフルなカリフラワーも出てきました。白・オレンジ・グリーン・紫色と黄色のロマネスコ、カリフローレという茎カリフラワーもあります。病気への抵抗力をつけるビタミンCや血圧を下げる効果があるとされているカリウムが豊富です。

## ●作ってみたい品種

- スノークラウン：大玉で純白。肉質緻密な早生種。
- ブライダル：寒さに強く、草勢が強いで作りやすい。中早生種。
- オレンジ美星：光に当たるとオレンジ色に。みずみずしく食味が良い。早生種。
- バイオレットクイン：花蕾が濃紫色。ゆでると鮮緑色に変わる早生種。
- ロマネスコ：甘みがあり、クセのない味が特徴で生のままスライスしてサラダでも食べられる。



スノークラウン



オレンジ美星



バイオレットクイン



ロマネスコ

## ●栽培方法

栽培適性	最適pHは6.0～6.5。排水性や保水性が良く、肥沃な土壌を好みます。過湿・高温には弱いです。
連輪作	アブラナ科(白菜・キャベツなど)の連作により根こぶ病が発生しやすいので、1～2年以上の輪作を行いましょう。
栽植密度	畝幅120㎝、畝高10～20㎝の畝を立て、条間50㎝、株間35～40㎝の2条植えにします。耕土が浅い場合は高畝にしましょう。
畑の準備	植え付けの2週間前に苦土石灰100g/㎡と完熟たい肥1kg/㎡を施しよく耕し、植え付けの1週間前には化成肥料(畑作名人 N:P:K=13:13:13)120g/㎡を施しよく耕します。
植え付け	葉数が3～4枚の苗を、根鉢の上面と畝の表面が同じ高さになるように植え付け、株元にたっぷり水をやります。植え付け後は防虫ネットのトンネルをかけます。また、定植前に育苗セルトレーへ登録のある農薬を灌注処理することで、初期の発生害虫を防ぐことができます(ハイマダラノメイガとハスモンヨトウに注意)。
追肥・培土	追肥(化成肥料40g/㎡)は中耕・培土をかねて定植から30～40日後に行います。
遮光	カリフラワー(純白系)は花蕾が直射日光や霜に当たると黄色っぽくなるので、外葉をヒモで縛り、花蕾を保護します。風の弱い畑では、外葉の元を折り曲げて花蕾に被せても良いです。
収穫	花蕾が直径13～15㎝程度で、花蕾が固く締まってきたタイミングが収穫適期です。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。